

TRC・大林F 共同企業体

指定管理三期目による図書館運営について

1. 指定管理事業者について

令和 8（2026）年 4 月からの 4 年間、東大阪市での指定管理を、株式会社図書館流通センターを代表企業とする「TRC・大林F 共同企業体」が受託させていただくこととなりました。

図書館流通センターは、全国 601 館（うち指定管理 420 館、業務委託 181 館、2026 年 2 月現在）を受託する図書館総合支援企業であります。大林ファシリティーズは、スーパーゼネコグループ会社として豊富な実績のある施設管理企業であります。全国の受託館における管理運営や二期目の事業展開により培った実績を最大限に活用し、両社一体となってさらなるサービスの向上に努めてまいります。

2. 図書館運営方針について

図書館が、東大阪市の誇る地域資源である、「スポーツのまち」・「モノづくりのまち」・「大学のまち」・「文化のまち」をつなぐ地域連携ハブ拠点となって、東大阪が目指す将来都市像「つくる・つながる・ひびきあうー感動創造都市東大阪ー」の実現に取り組んでまいります。

また、永和・花園・四条の各館には、「ビジネス支援」・「健康・スポーツ」・「子育て支援」といった重点テーマを持たせ、資料の収集や提供を行うほか、イベントなど事業の展開につなげ、各館の特徴を生かした運営を行ってまいります。

3. 今後の図書館運営について

二期目の事業を引き継ぎながら、より充実・発展した図書館サービスを提供してまいります。

また、地域に根ざし、より多くの人が利用する図書館を目指して、リアルとデジタルを活用し、東大阪市のさまざまな世代・地域に向けたサービスを提供すべく事業展開してまいります。

図書館を支えてくださっているボランティア団体の皆さまや各種の団体・個人の皆さまには、引き続きご支援をいただきながらサービスを前進させ、相互に発展していける環境を整えてまいります。

裏面をご覧ください。

4. 新たな図書館サービスについて

令和8年4月からの三期目においては、次に掲げる新たな図書館サービスを実施してまいります。

①農業・自然に関するデータベースを導入します。

スポーツ・文化・自然をテーマとする花園図書館においてデータベース「ルーラル電子図書館」（農山漁村文化協会）を導入し、農業・食文化・暮らしに関する情報を提供します。また市民向け講習会など関連イベントの開催やレファレンスに活用します。

②石切分室の開館日を増やします。

二期目で開館日が増えた石切分室（水・土・日開館）については、木曜日も開館するよう改め、東部地域の皆さまの利便性を向上させてまいります。

③図書館まつりを開催します。

バルコニー、館内など花園図書館全体を活用して、講演会・読み聞かせなどのイベントを中心にキッチンカーなど多くの市民に集まっていたりするような「図書館まつり」を開催します。このようなイベントを通して新たな図書館ファン獲得、また人の集う場所としての図書館をめざします。

④おいしいコーヒーの淹れ方講座を開催します。

図書館や本には興味がないという方にも気軽に参加してもらうためのイベントとしてコーヒーについての講座を開催します。このようなイベントを通して新たな図書館ファン獲得、また人の集う場所としての図書館をめざします。

以 上